

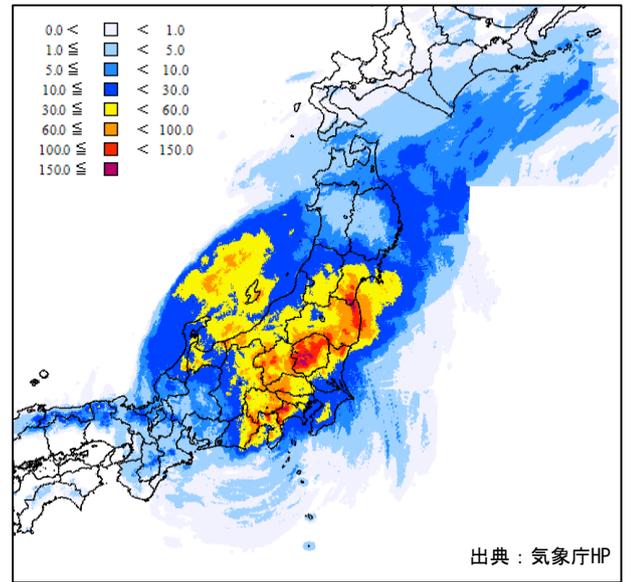
令和元年10月台風19号における活動

◎令和元年10月台風19号の概要

10月6日に南鳥島近海で発生した台風19号は、マリアナ諸島を西に進み、一時大型で猛烈な台風に発達した後、次第に進路を北に変え、日本の南を北上し、12日19時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸した。その後、関東地方を通過し、13日12時に日本の東で温帯低気圧に変わった。台風19号の接近・通過に伴い、広い範囲で大雨、暴風、高波、高潮となった。

この大雨について、10月12日15時30分から順次、1都12県に大雨特別警報を発表し、最大級の警戒を呼びかけた。

この大雨の影響で、広い範囲で河川の氾濫が相次いだほか、土砂災害や浸水害が発生した。これら大雨による災害及び暴風等により、人的被害や住家被害、電気・水道・道路・鉄道施設等のライフラインへの被害が発生した。また、航空機や鉄道の運休等の交通障害が発生した。



10月12日20時 3時間降水量（解析雨量）

◎TEC-徳島「令和元年10月台風19号支援」の派遣状況

○災害復旧支援（土木部門）

派遣期間 令和2年1月1日～令和3年3月31日

派遣人数 延べ7名

○災害復旧支援（農林部門）

派遣期間 令和2年1月1日～令和3年3月31日

派遣人数 延べ2名

◎被災状況・活動状況



災害査定状況
TEC-徳島隊員

